

**E** エッセイ  
**ssay.****豊橋とタイをつなぐ**t+t Café (ティティ カフェ) 代表  
(株)Bricks&UK 海外進出支援/シニアコンサルタント  
**カウイーポット ポウイジット**

平成2年10月、私は日本の文部省(当時)の奨学生として来日しました。まずは東京の日本語学校で半年間日本語を学び、福井高専、豊橋技術科学大学で学んだ後、もっと真の日本社会を知りたいという気持ちから豊橋の企業に就職し、そこで10年勤めました。社会人時代には日本の会社の組織、人間関係、日本人の勤勉さなど多くの面で学ぶことができ、様々な経験ができたことは、とても感謝しています。ただ、日本の会社で外国人が働くということによる葛藤もあり、また、自分自身を見失いつつあることにも気づき、退職を決意し、独立起業するに至りました。

私にとって異国の地で暮らしていくには、生きがいや、やりがいが必要不可欠です。これらがなければ、自分らしさを保つことは難しいです。そのために自分自身の持つ可能性を模索し、実現させる努力を続けるのは困難が伴いますが、充実した生活を送る上ではとても大切なのです。

退職後は、タイと日本とのつながりを築くにはどうすべきかを考えていましたが、タイの文化を多くの人に知ってもらうためには、やはり食文化が一番伝わりやすいのではないかと思います。名古屋のカフェビジネス専門学校に通い、タイ食材店を経営する傍ら、タイ語や料理教室の講師、企業での通訳翻訳、名古屋タイフェスティバル実行委員や司会など、タイに関することであれば何でも積極的に関わっていました。日々、模索の毎日でした。

豊橋に居を構え、20年近くも住むことになったのは、就学、就職の他に、豊橋出身の女性と結婚し三人の子供に恵まれたことが主な理由ですが、豊橋は住みやすく、私にとって第二の故郷となり

つつあります。長年住んできた豊橋で、母国タイとの交流の場ができればという思いから、昨年、向山の文化会館近くにタイ料理を味わえるt+t Café (ティティ カフェ)をオープンしました。店名のt+tは、豊橋とタイそれぞれの頭文字をとって、豊橋とタイをつなぐという意味がこめられています。ここを拠点として、タイ文化を知るためのきっかけになれば嬉しく思います。

また、昨年からは豊橋市の外国人市民会議の委員を務めさせていただいています。日本人と外国人とが互いに理解し合い、お互いにとって住みやすい町にするため、そして今後の多文化共生のための一助になれば、今まで暮らしてきた市民として少しは貢献できるのではないかと考えています。

私が日本で充実した生活を過ごせるのは、温かい人々との出会いに恵まれ、多くの方々に支えられてきたからです。こうした縁や、つながりによって自分の進むべき道にやっとたどり着けたような気がします。今年は日タイ友好125周年の年でもあります。私個人の力は小さなものかもしれませんが、日本への恩返しとして、ここ豊橋の地から両国を結ぶ役割を担うことができれば幸せです。

t+t Café (ティティ カフェ) 店内。遊びに来てくださいね。  
t+t Café ホームページ (<http://hitosara.com/0005032918/>)